

# Windows Server 2012 R2 Essentials の活用

Microsoft MVP For Windows Server for Small and Medium Business

澤田 賢也 (@MasayaSawada)

<http://wsbs.wordpress.com/>



2014/11/26

# Windows Server 2012 R2 Essentials への接続方法

## Windows Server 2012 R2 Essentials

- ・ドメイン コントローラーであること  
(すべての FSMO ロールが含まれる単一のサーバー)
- ・ドメイン フォレストのルートであること
- ・25 ユーザーまで
- ・子ドメインでないこと
- ・他のドメインとの信頼関係がないこと

社外

インターネット



サーバー

オンライン  
サービス連携

Windows Server 2012 R2 Essentials  
connector のインストール

- ・50 デバイスまで



スタートパッド

社内

# Windows Server 2012 R2 Essentials への接続方法

## Windows Server 2012 R2 Essentials

- ・ドメイン コントローラーであること  
(すべての FSMO ロールが含まれる単一のサーバー)
- ・ドメイン フォレストのルートであること
- ・子ドメインでないこと
- ・他のドメインとの信頼関係がないこと
- ・25 ユーザーまで

社外

インターネット



サーバー

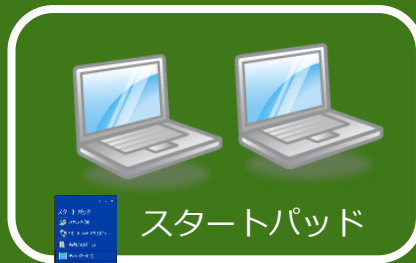
オンライン  
サービス連携

## Windows Server 2012 R2 Essentials connector のインストール

- ・50 デバイスまで



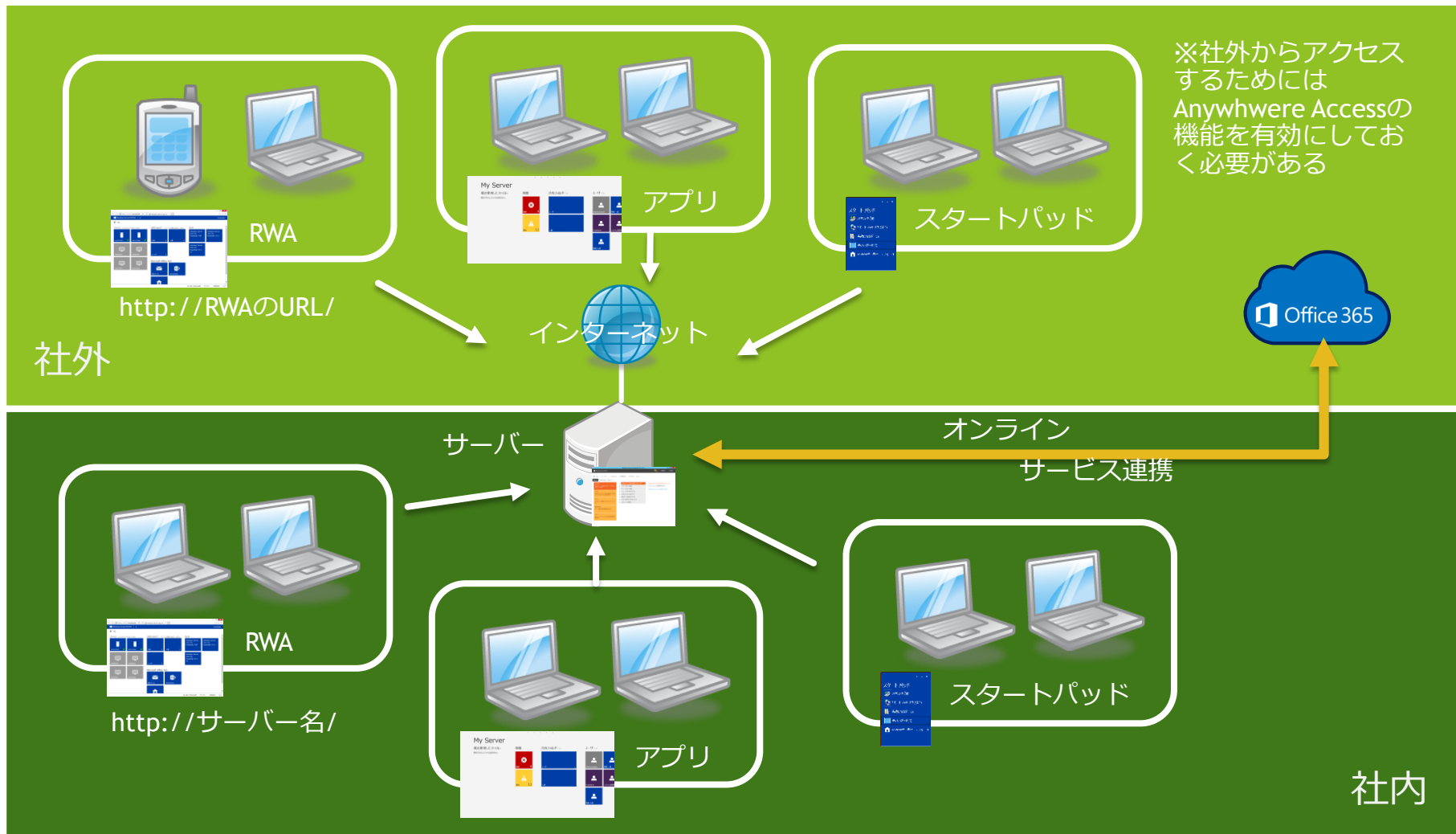
アプリ



スタートパッド

社内

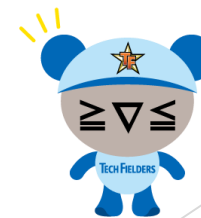
# Windows Server 2012 R2 Essentials への接続方法



# Windows Server 2012 R2 Essentials の活用

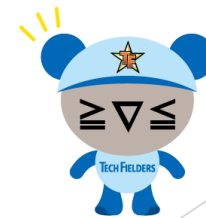
## ▶ デモによる各機能の紹介

- ▶ ユーザー管理（作成、変更等）
- ▶ デバイス管理（リモートインストール）
- ▶ 記憶域管理（フォルダーの移動、クォータ、2台目のサーバーの管理）
- ▶ リモートWebアクセス（リモート接続、共有フォルダー、パスワード変更）
- ▶ ストアアプリ（リモート接続、共有フォルダー）
- ▶ オンラインサービス連携（オンライオンバックアップ）



# まとめ

- ▶ ユーザー管理
  - ✓ クラウドにあることを忘れてしまうぐらいの操作性
- ▶ デバイス管理
  - ✓ 場所を選ばず使いたいときに使うことができる
- ▶ 記憶域管理
  - ✓ ファイルサーバーのメンテナンスが便利
- ▶ リモートWebアクセス
  - ✓ 接続デバイスを選ばない
- ▶ ストアアプリ
  - ✓ 新しい利用形態にも対応
- ▶ オンラインサービス連携
  - ✓ バックアップも場所を意識せずに利用が可能



# Windows Server 2012 R2 Essentials 書籍



- イントロ Windowsサーバーを構築する前に
- 第1章 ファイルサーバーの基礎知識
  - 第2章 認証サーバーの作成
  - 第3章 アカウントの作成と管理
  - 第4章 共有フォルダーの作成とデータ管理
  - 第5章 データのバックアップ
  - 第6章 日々の運用とセキュリティ
  - 第7章 サーバーの利便性向上

価格：2,800円

発売日：2014年12月16日

# オンラインサービス連携 (Microsoft Azure Backup)

統合モジュールのインストールと構成

2014/11/26



# 手順 1 : 統合モジュールのインストール

Windows Server Essentials ダッシュボード

Windows Server 2012 R2

ホーム ユーザー デバイス 記憶域 アプリケーション

開始する | 正常性の監視 | 状態レポート |

**セットアップ**  
初めてサーバーを構成するときは、これらのタスクを完了してください。

**サービス**  
お使いのサーバーを、ビジネス生産性およびコラボレーションソリューションと統合します。

**アドイン**  
ビジネスにとって有益なアドインをインストールします。

**簡単な状態**  
サーバー構成状態の概要を表示します。

**ヘルプ**  
サーバーのオンラインヘルプとその他の情報を取得します。

**Microsoft Online Services**

→ Microsoft Azure Active Directory と...	無効
→ Microsoft Office 365 との統合	無効
→ Windows Intune との統合	無効
→ Microsoft Azure Backup との統合	無効

**MICROSOFT AZURE BACKUP との統合**

ウイルス、ハードウェアの障害、災害、ユーザーによる誤動作、停電、盗難などの不測の事態は、データの一部または全体が失われる原因になります。Microsoft Azure Backup はデータを暗号化し、インターネットにアクセスできる安全な遠隔地に保存して、重要なビジネス情報の保護に役立ちます。

万一データが失われた場合は、Microsoft Azure Backup で、自分しか知らないパスフレーズを使用してファイルおよびフォルダーを復元できます。

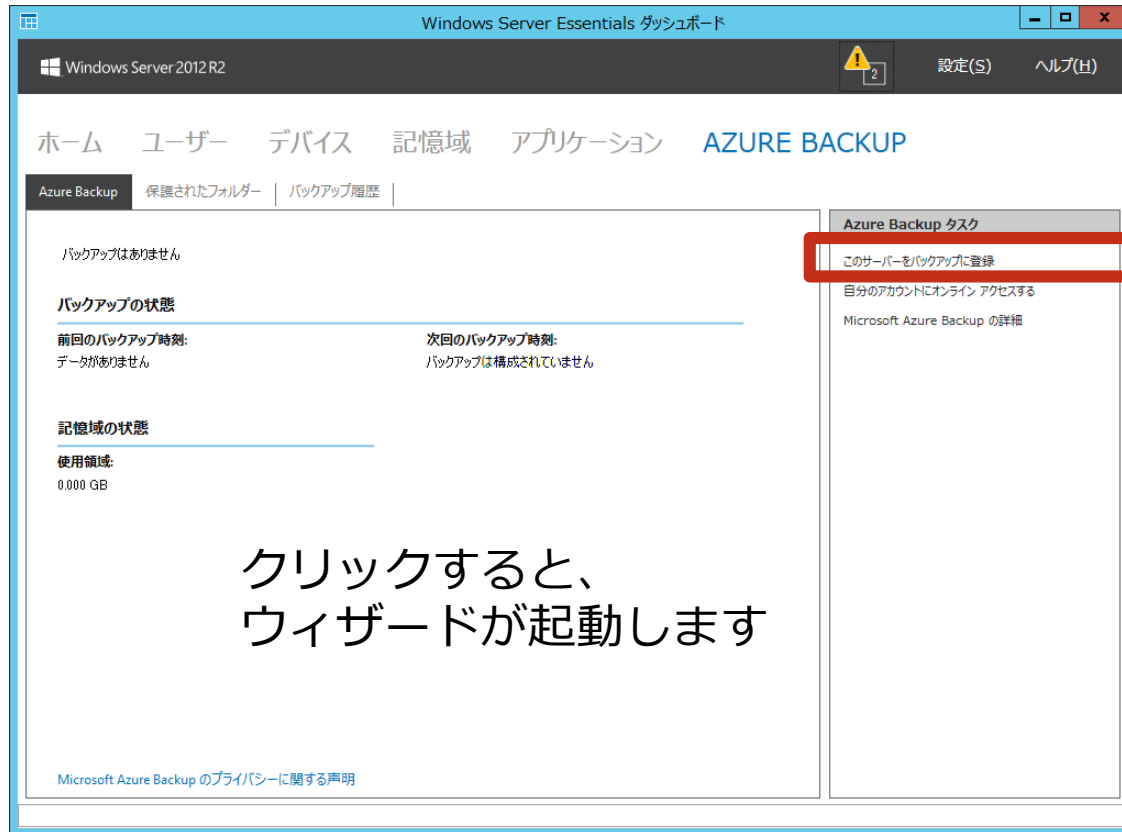
**その他の統合**

→ Exchange Server の統合	無効
-----------------------	----

クリックして、Microsoft Azure Backup 統合モジュールを...

クリックすると、  
統合モジュールがダウンロードされ、  
インストールが開始されます。

## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



Windows Server Essentials ダッシュボード

Windows Server 2012 R2

ホーム ユーザー デバイス 記憶域 アプリケーション **AZURE BACKUP**

Azure Backup 保護されたフォルダー | バックアップ履歴

バックアップはありません

**バックアップの状態**

前回のバックアップ時刻: データがありません

次回のバックアップ時刻: バックアップは構成されていません

**記憶域の状態**

使用領域: 0.000 GB

**Azure Backup タスク**

**このサーバーをバックアップに登録**

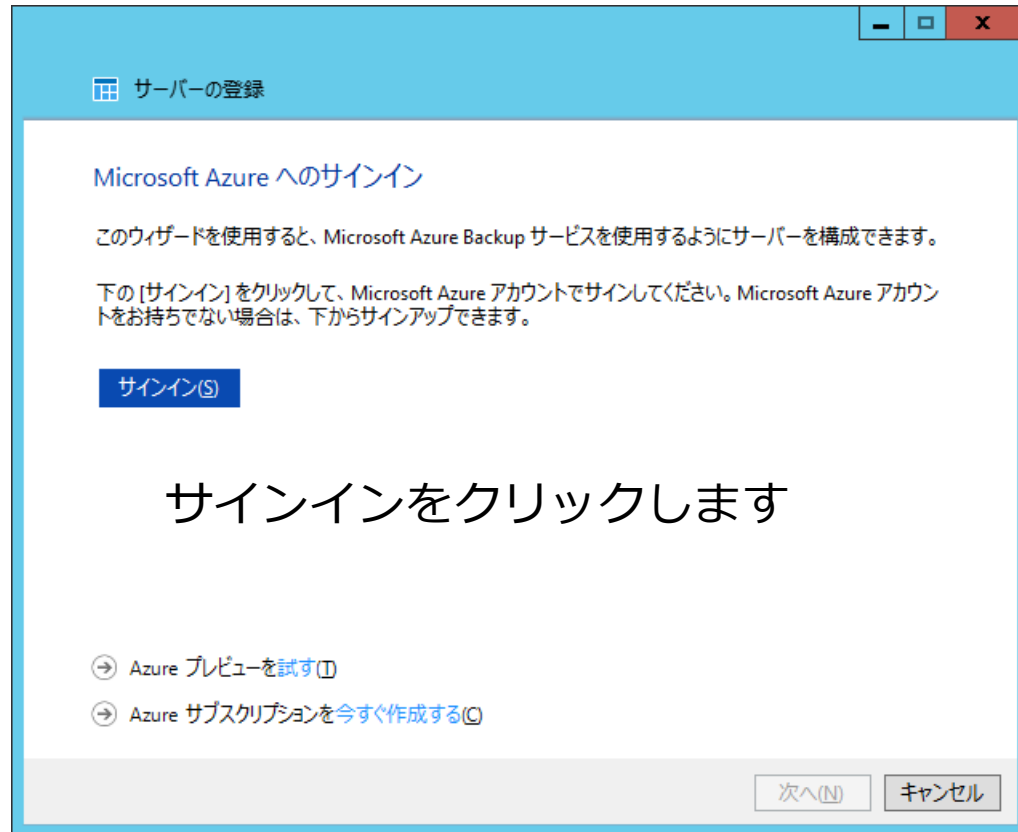
自分のアカウントにオンライン アクセスする

Microsoft Azure Backup の詳細

クリックすると、  
ウィザードが起動します

Microsoft Azure Backup のプライバシーに関する声明

## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



Azure Active Directory にサインインする

サインイン

組織アカウントでサインインする

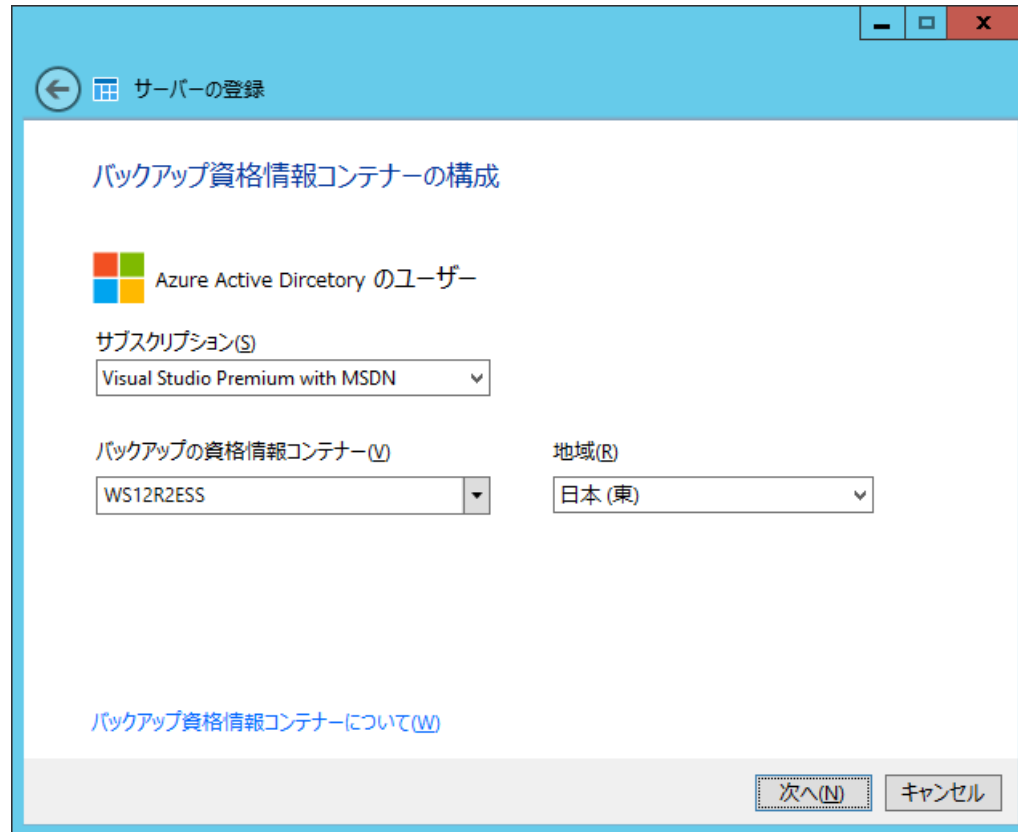
パスワード

サインインしたままにする

アカウントにアクセスできない場合

Azure Active Directory のアカウントを  
入力し、サインインをクリックします

## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



サーバーの登録

バックアップ資格情報コンテナの構成

Azure Active Directory のユーザー

サブスクリプション(S)  
Visual Studio Premium with MSDN

バックアップの資格情報コンテナ(U)  
WS12R2ESS

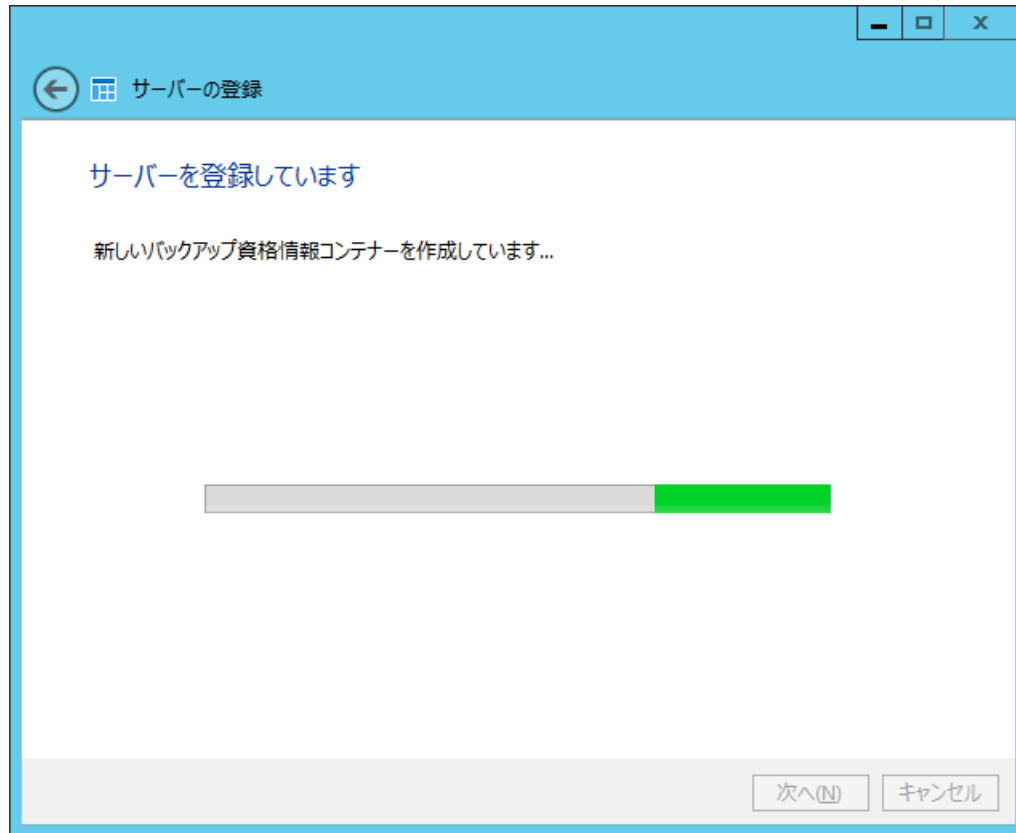
地域(R)  
日本 (東)

[バックアップ資格情報コンテナについて\(W\)](#)

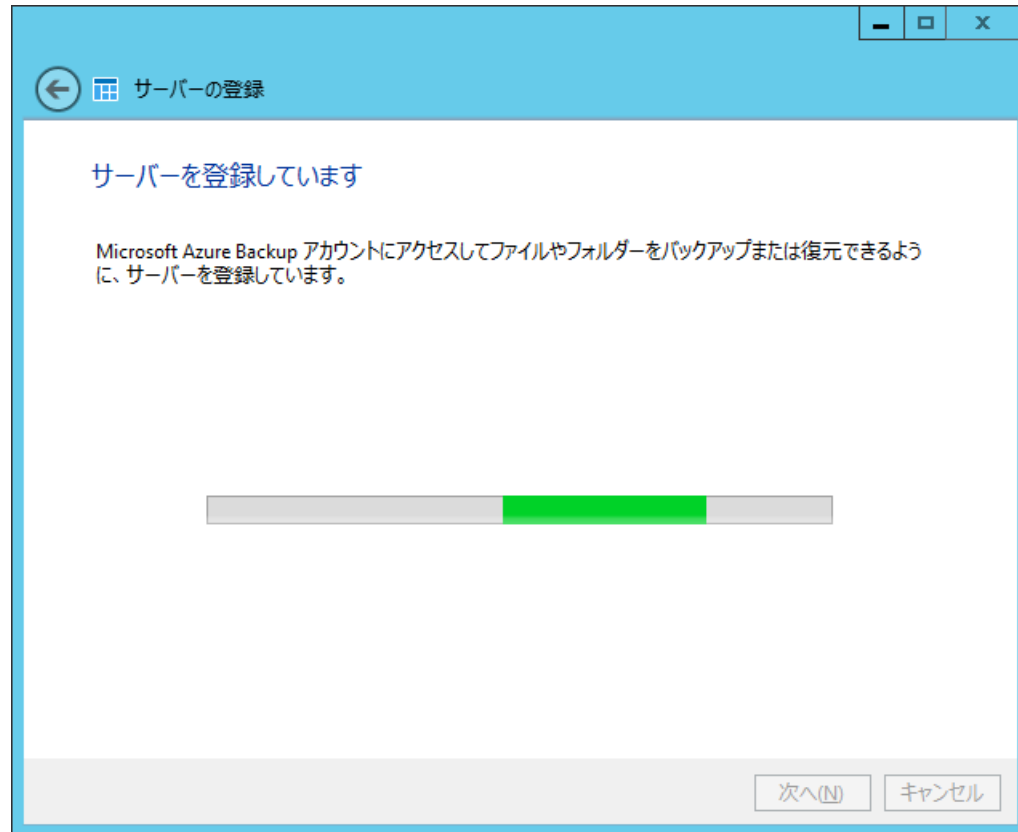
次へ(N) キャンセル

- 現在の契約状態が表示されます。
- コンテナ名を指定します。
- データセンターを指定します。

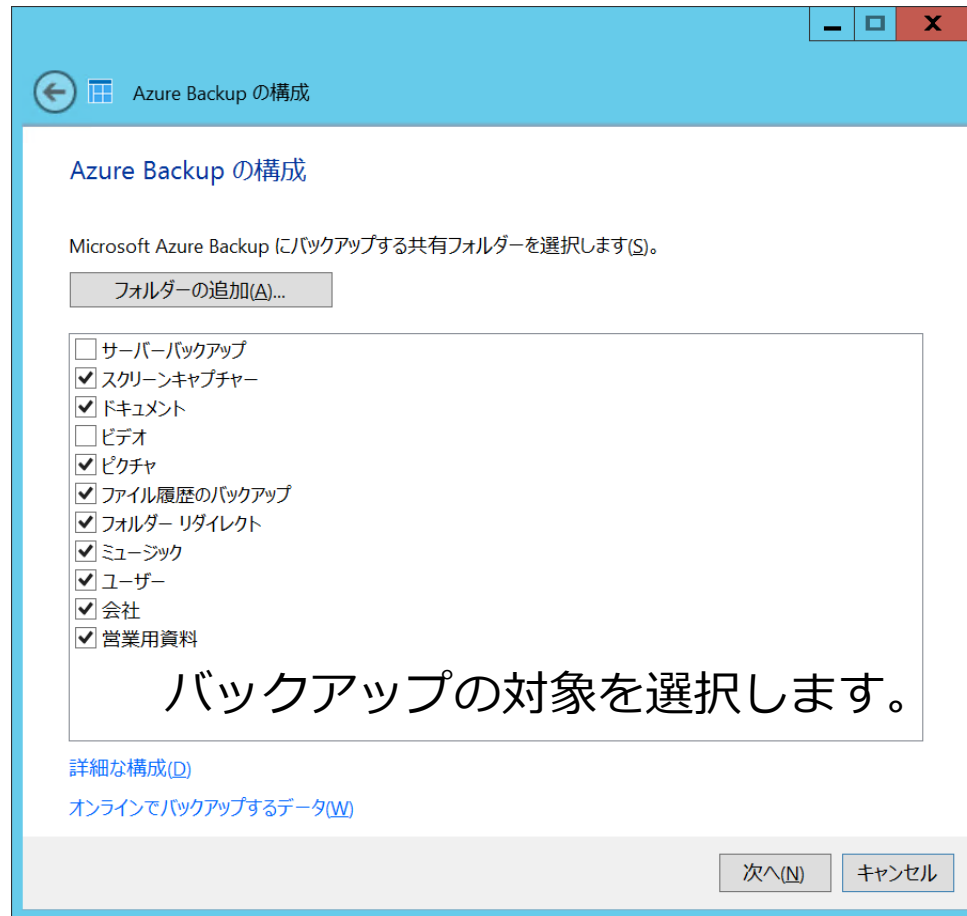
## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録



Azure Backup の構成

Azure Backup の構成

Microsoft Azure Backup にバックアップする共有フォルダーを選択します(S)。

フォルダーの追加(A)...

- サーバーバックアップ
- スクリーンキャプチャー
- ドキュメント
- ビデオ
- ピクチャ
- ファイル履歴のバックアップ
- フォルダー リダイレクト
- ミュージック
- ユーザー
- 会社
- 営業用資料

バックアップの対象を選択します。

[詳細な構成\(D\)](#)

[オンラインでバックアップするデータ\(W\)](#)

次へ(N)    キャンセル



## 手順 2 : サーバーを Microsoft Azure Backup に登録

